

ファームレポート 11年1月

1月は近年にない気温の低い日が多く、朝晩の冷え込みの厳しい日が続いています。晴天が続き圃場は乾燥した状況です。

農場から1月の報告を致します。

昨年末にサンプリング致しました土壌成分の分析結果が出ました。その結果をみると、1つ予想外の結果が出ました。通常、新たに造成（開墾）した圃場はpH値が低く、多くの圃場は酸性土壌であります。しかし出てきた分析結果のpH値は高く、ややアルカリ性に傾いておりました。ブドウには良い結果です。それ以外の土壌養分の数値には過不足がみられ、まだまだ土壌改良の努力が必要です。

今月の作業はブドウ樹の剪定を中心に行ないました。剪定を行いながら結果母枝となる枝の状態をみると、枝は充実し芽は大きく膨らみ本年の収穫は、かなり期待できそうです。剪定後、垣根の針金に巻きついた巻きひげを取り除きました。この作業は病気の発生を予防するために必要なものです。

下旬には、芽を揃って萌芽させるための、萌芽促進剤の塗布処理を致しました。

2月は既設の垣根へのアンカー・控線取り付け等の施設整備、圃場整備、その他に新規圃場の準備作業を進めて行きます。